

～ 男女共同参画社会の実現に向けて～

モア MORE

幸手市^{ひと}女と^{ひと}男の情報紙
第29号 2024

モア(MORE)とは、女と男が^{より}豊かに、^{より}すばらしい
男女共同参画社会実現への願いを込めて命名しました。

表紙の絵

性別にかかわらず一人ひとりの人権が尊重され多様性を認め合い、
自分らしく生きることのできるまちづくりを進めていけることを
願っています。

特集

ご存じですか？
パートナーシップ
宣誓制度



絵・デザイン 三澤 昭人 作



ご存じですか？パートナーシップ宣誓制度・・・・・・・・・・2,3ページ
女と男の共生セミナー in 西中学校・・・・・・・・・・4ページ
パープルリボンキャンペーン、男女共同参画週間・・・・・・・・4ページ



ご存じですか？ パートナーシップ宣誓制度



パートナーシップ宣誓制度がはじまりました

パートナーシップとは、双方または一方が性的少数者であり、相互の協力により継続的な共同生活を行い、または行うことを約束し、互いを人生のパートナーとすることを約束する2人の関係をいいます。

幸手市では、**すべての人々の人権や性の多様性を尊重し、精神的な安心感や生きづらさの軽減、社会的な理解の促進を目指して、令和5年4月1日から幸手市パートナーシップ宣誓制度を開始しました。**



多様な性のあり方を理解しましょう

次の4つの要素からの組み合わせによって、様々な性のあり方が存在します。

法律上の性別(からだの性)

身体つきなどの生物的な性

性自認(こころの性)

自分が感じている性

性的指向(好きになる相手の性)

恋愛感情がどの性に向いているか

表現する性

言葉使いや服装、しぐさなど



性は心とからだの両方



LGBTQ (エルジービーティキュー) とは

LGBTQとは、性的少数者の人々を広く表す総称です。
性的マイノリティ、セクシャルマイノリティと呼ばれています。

L レズビアン

性自認が女性で
女性を好きになる人
女性同性愛者

G ゲイ

性自認が男性で
男性を好きになる人
男性同性愛者

B バイセクシュアル

女性も男性も両方
好きになる人
両性愛者

T トランスジェンダー

生まれた時に割り
当てられた性別と、
性自認が異なる人

Q クエスチョニング

性のあり方が特定の
あり方に属さない、
決めていない、
決められない等の人



自分と同じように相手を尊重する行動をしましょう

性的少数者もそうでない人も、誰もが個性と能力を十分に発揮できる社会を目指すための心得を、「さっちゃん」に紹介してもらいましょう。

正しい知識を身につける

性のあり方は多様で、一人ひとりの人権にかかわることです。正しい知識を持ち、LGBTQ当事者の存在や悩みに気づくこと、理解を深めることが大切です。

配慮した言動をする

LGBTQ当事者は「いない」のではなく、「本人が言えない・言わない」「見えていない」だけかもしれません。性自認や性的指向について面白がって話すようなことはしない、性のあり方が多様であることに配慮した言動をしましょう。

カミングアウトを受け止め アウティングは絶対しない

カミングアウトや相談を受けた場合は、「打ち明けてくれてありがとう」と伝えるなど、本人の思いを受け止めることが大切です。また、本人の了承なく周囲に漏らすこと（アウティング）は、絶対してはいけません。



幸手市
マスコットキャラクター
「さっちゃん」



市民のみなさまへのお願い

本制度は、婚姻制度と同等の権利や義務などの法的効力は生じませんが、市としては、性別にかかわらず、一人ひとりの人権が尊重され、多様性を認め合い、自分らしく生きられるまちづくりを進めたいと考えています。

市民のみなさまには、お互いの人権の尊重および性の多様性へのご理解をお願いいたします。



詳しくは、市のホームページをご覧ください。

幸手市パートナーシップ宣誓制度



令和5年度 ひとひと 女と男の 共生セミナー in西中学校

11月28日 火曜日 日直西中

ひとり一人の性と生～みんな違ってあたりまえ～

講師 古野 ひとみ氏

令和5年11月28日(火)に「女と男の共生セミナー」を幸手市立西中学校で、開催しました。今回の講師は、NPO法人「LGBTの家族と友人をつなぐ会」理事、NPO法人「あなたのSOGIE」代表の古野ひとみさんです。

講演内容は(クイズ方式)、講師から生徒たちに質問をし、ひとり一人が考え、挙手して意見を発表する形で進められました。

講師のお話はどれも貴重な内容でした。中でも「自分のものさしだけで決めつけていませんか？」の問いかけには、色々な気づきがありました。さらに、「生きている限り、年齢に関係なく、一生人権について考える必要がある。」という講師の言葉も深く印象に残りました。

約540名の生徒たちが真剣に話を聞き、考え、意見を発表する姿は、とても頼もしかったです。



＜講演会の様子＞

▷生徒の感想

「LGBTQ」について正しい知識を知り、周囲に伝えていきたい。誰かを傷つける言動はしたくない。

同性、異性どちらを好きになっても良い、恋愛する、しないも自由でいい、ひとり一人が違っていいことがわかった。

公立中学校で、男は「技術」女は「家庭科」と性別で教科が分けられている時代があったことにおどろいた。

パープルリボン キャンペーン

埼玉県では、「女性に対する暴力をなくす運動」を多くの人に啓発するため、県民の皆様にはパープルリボンを作っていただき、タペストリーを完成させるというキャンペーンを実施しています。

(参加:32市町村/埼玉県63市町村)

幸手市では、このキャンペーンの趣旨に賛同し、「女性に対する暴力をなくす運動」の取組みとして、令和6年1月30日(火)～2月7日(水)まで実施しました。



＜市役所ロビーで実施＞

※パープルリボンは、DVをはじめとする女性に対する暴力をなくそうという国際的なキャンペーンのシンボルです。

6/23～6/29は男女共同参画週間です。

毎年期間中は、市役所本庁舎1階ロビーにてパネル展を開催しています。



＜パネル展の様子＞

編集後記

昨年10月より9名中5名の委員の交代があり、また新たな視点から、より一層の男女共同参画推進への啓発活動にささやかながら寄与していければとの思いで今回の『モア』発刊に携わりました。性の多様性を認め合う社会をめざすきっかけになれば幸いです。イクメンの言葉がなくなるまで。